

|           |            |      |    |    |
|-----------|------------|------|----|----|
| 講義名       | キャリア基礎論    |      |    |    |
| 担当教員      | 小幡 祐可子     |      |    |    |
| 開講期・曜日・時限 | 後期 水曜日 3時限 | 授業形態 | 講義 |    |
| 履修開始年次    | 2年生        | 単位数  | 2  | 備考 |

**主題と概要**

受講生は変化する日本の労働市場において、多様化する大学生の進路について学ぶ。その多様化する進路を自ら選択できるように、実社会の事例を取り上げることで将来をイメージしていく。就職だけでなく人生全体を考え、自らの夢に向かうために、社会の現実と自己を照らし合わせて自分の目標を明確にし、新たな自分を磨き上げていくことを目的とする。

**到達目標**

- 日本の労働市場を知ることによって大学生の就職環境について説明することができるようになる。
- 業界や職種などの違い、働き方（ワークスタイル）を理解し、自分の希望する仕事の取り込みができるようになる。
- 社会が求める人材像や能力を知ることによって将来のキャリアに向けて学生時代の目標設定ができ、その達成までのロードマップを策定し、充実した学生生活を過ごすことができるようになる。

**提出課題**

毎回の授業後にリフレクションシート（ミニレポート）を提出する。  
期末に課題レポートを提出する。

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック**

リフレクションシートを提出をした翌回の授業冒頭において、必要かつ可能な範囲でフィードバックを行う。

**評価の基準**

リフレクションシート（80%）  
授業参加態度（発表、プレゼンテーション、グループワーク等）（10%）  
基礎能力テスト/SPI（10%）  
期末レポート（20%）

15回の授業のうち3分の1以上（5回以上）の欠席者については成績不可とする。

**履修にあたっての注意・助言他**

この授業は社会に出ていくための練習の場でもあるため、社会生活を送るうえで必要なルールやマナー（レポート提出の期日厳守等）を守ること。  
授業で行うグループワークには積極的に参加すること。

|     |         |  |  |  |  |
|-----|---------|--|--|--|--|
| 教科書 | .使用しない。 |  |  |  |  |
|     |         |  |  |  |  |
|     |         |  |  |  |  |
|     |         |  |  |  |  |

**プリント資料及び参考文献**

プリント資料及び参考文献に関しては、使用する際に適宜配布、紹介する。

**授業計画**

- 1 イントロダクション～キャリア基礎論について～
- 2 大学生のキャリアデザイン
- 3 未来の創造
- 4 日本の雇用システム
- 5 働き方研究～総論で働く～
- 6 働き方研究～独立して働く～
- 7 働き方研究～多様な働き方～
- 8 自己分析から価値観と社会の接点を探る
- 9 仕事理解～企業とは何か～
- 10 仕事理解～業種・職種とは何か～
- 11 社会で求められる人材
- 12 社会で求められる基礎能力～SPI～
- 14 社会で求められる基礎能力～SPI～
- 15 就職活動の準備
- 16 まとめ

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

|                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| ア：PBL（課題解決型学習）                       | イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） |
| ウ：ディスカッション、ディベート                     | エ：グループワーク                                  |
| オ：プレゼンテーション                          | カ：実習、フィールドワーク                              |
| キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合） |  |

**準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間**

授業に関連する本や新聞記事や雑誌を読んだり、ニュースをチェックしたりする習慣を日常的に付け、特にキャリア・就職・労働・雇用・ビジネスなどといったキーワードには注目するようにしておく（毎日1時間）  
授業のなかで紹介したり、示した参考文献や参考資料などを読んだり、目を通してしておく（毎回30分）  
授業で学んだことの復習や実践（毎回30分）  
基礎能力試験（SPI適性検査）対策（毎回2時間）

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

当該科目は主題と概要でもすでに記載しているが、多様化する進路を自ら選択できるように、実社会の事例を取り上げることで将来をイメージしていくことを主眼とした授業であり、「働く目的と仕事観の醸成、自身の適性と適職探し、職種と業界の特性分析等を体系的に行う」というキャリア科目のCPとも含致していると考え。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

質問やアンケートをレスポンドで回答してもらうことがある。

**実務経験の有無及び活用**

実務経験あり  
キャリアコンサルティングの国家資格を有し、企業研修、人材育成に携わる。  
また、アパレル業、ブライダル業での実務経験がある他、フリーアウンサーとして活動をしている。  
これらの経験を生かして、大学の学びや経験がどのように社会で役に立つのか実例を交えて解説を行う。

**備考**

新型コロナウイルス感染症の状況によって、シラバスを修正することがあります。